

19) 第5節 魅力ある都市空間の形成と産業の振興

目的：快適で便利な賑わいのあるまちに住むことができるようにする

指標：快適・便利・賑わいがあると感じている人の割合

目的

首都圏の近郊都市として発展してきた本市にとっては、都市基盤の強化や商工業の維持発展により快適性や利便性を向上させることや地域の独自性を高め、観光や就労・就学の交流人口を増やすことが重要であると考えます。

指標

都市機能の強化は、快適性や利便性の向上となり、産業の振興と雇用の確保、観光資源の活用や商圈の拡大等による交流人口の増加は賑わいをもたらすものです。そこで、都市機能の強化により快適・便利・賑わいがあると感じている人の割合を増加させることを目指します。

設問

この指標は、「快適・便利・賑わいの4項目の満足度」を組み合わせ聞いている。「地域・態度(評価)」

「まちの賑わいや買い物の便」「通勤、通学などの交通の便」「道路、公園、下水道などの都市施設」「特色ある祭りや地域ぐるみのイベント」の4項目

あなたが松戸市で生活する中で、次のことについてそれぞれどの程度満足していますか。(1つに)

- 1 十分満足している      2 まあまあ満足している      3 普通である
- 4 やや不満である      5 きわめて不満である      6 わからない

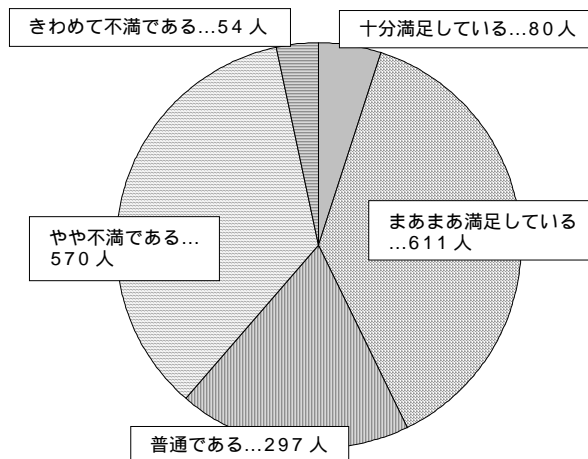
指標の現状(値)

カテゴリー	割合
十分満足している	5.0%
まあまあ満足している	37.9%
計	42.9%

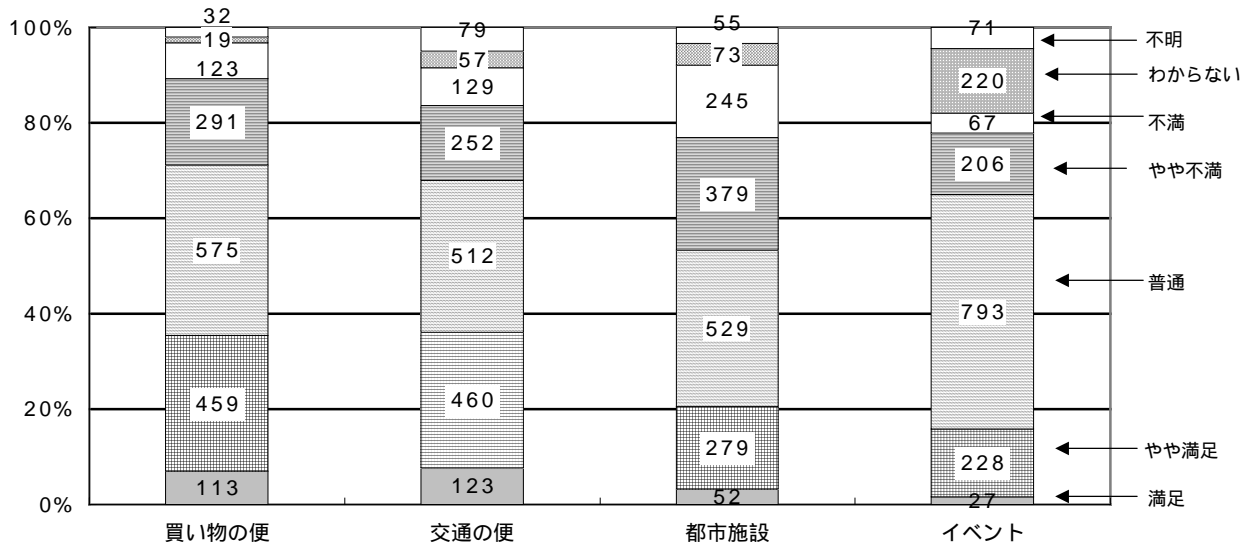
指標の分析

日頃、生活する中で、快適・便利・賑わいに満足している人(「十分満足している」「まあまあ満足している」)は42.9%と満足していない人38.7%(「やや不満である」+「きわめて不満である」)を若干上回っている。

快適・便利・賑わいがあると感じている人の割合



さらに、個別に見ると、「まちの賑わいや買い物の便」「通勤・通学などの交通の便」は満足度が他より高く、「特色ある祭りや地域ぐるみのイベント」については普通が半数を占め、「道路、公園、下水道などの都市施設」は不満が高い。



目的：安全な水をいつでも使えるようにする

指標：(水道水に)満足している人の割合

目的

市民は健康に係る水の安全性について関心が高く、水道は生活を支える基本的要素であり、安全な水をいつでも使えるようにしておくことが重要と考えます。

指標

水道の質・量・料金は、利用者にとって基本的な要件となっています。これらに満足している人の割合が増えることを目指します。

設問

この指標は、次の設問により直接的に聞いている。「地域・態度(評価)」

あなたが松戸市で生活する中で、水道水のおいしさ、安さについてどの程度満足していますか。

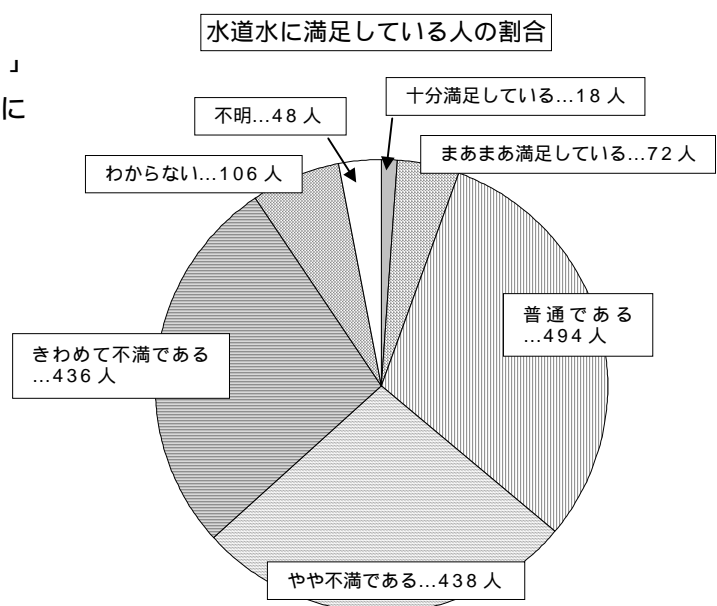
- |            |              |         |
|------------|--------------|---------|
| 1 十分満足している | 2 まあまあ満足している | 3 普通である |
| 4 やや不満である  | 5 きわめて不満である  | 6 わからない |

指標の現状(値)

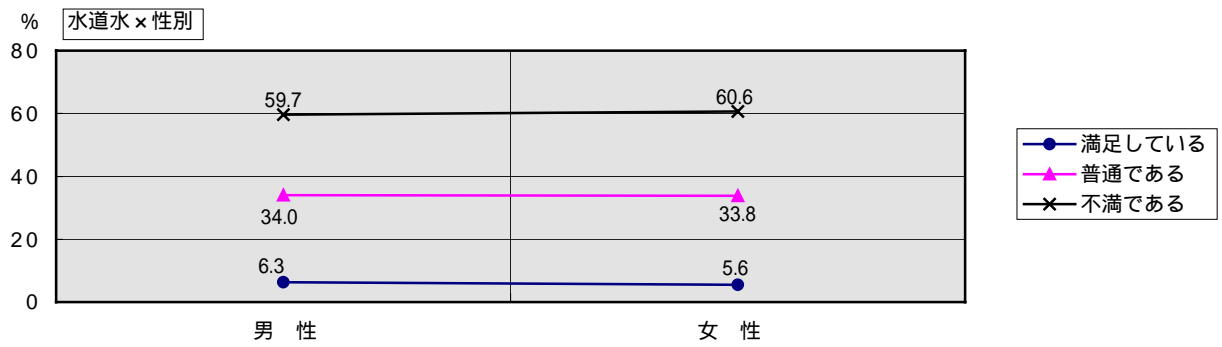
カテゴリー	割合
十分満足している	1.1%
まあまあ満足している	4.5%
計	5.6%

指標の分析

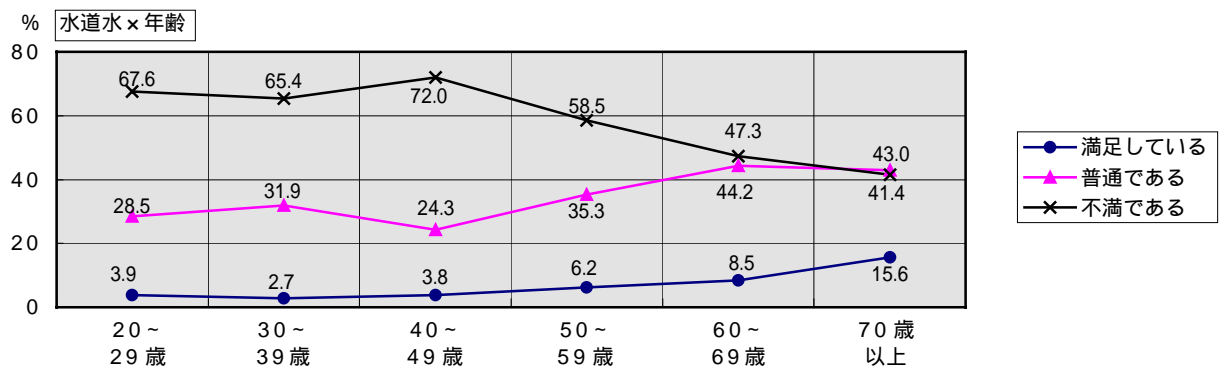
水道水に満足していない人(「やや不満である」「きわめて不満である」)が54.3%と半数以上になっている。



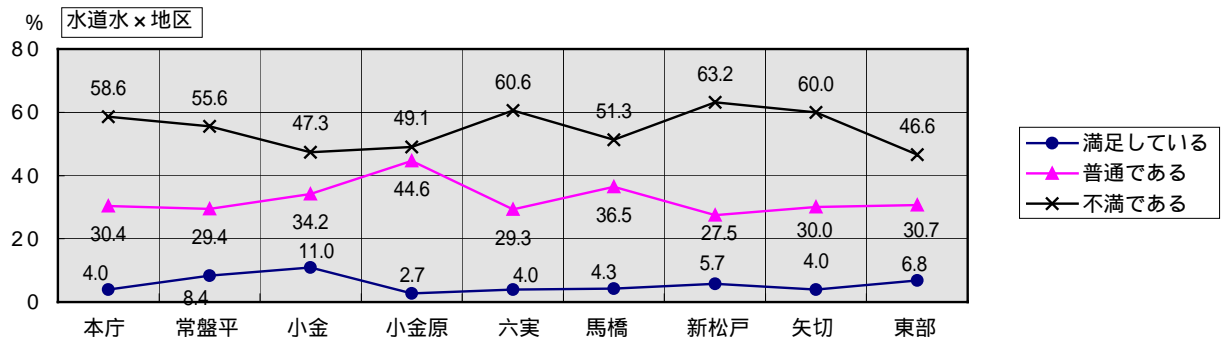
次に、性別で見ると、偏りはみられない。



また、年齢別で見ると、加齢するとともに満足と普通は上がり、不満は減少する。



さらに、地区別に見ると、小金地区の満足が若干高く、小金原地区の普通も若干高い。



21) 第6節 都市経営の視点に立った行財政運営 第5項 庁舎および庁舎機能の整備充実

目的：市役所・支所の利便性を向上させる  
 指標：市役所・支所を不便と感じている人の割合

目的

市役所や支所は市民サービスの基点であり、その利便性を向上させることが市民サービスの向上に直接影響を与えと考えられます。

指標

市役所や支所といった市民に身近な施設のハード面における利便性や不便性を調査することで、庁舎機能のうち今後整備すべき優先順位を検証できると思われます。また、市役所や支所といった公的な場所が全てバリアフリーになっていることは市民の役にたつ人のいる場所としては大事なことと思われます。

設問

この指標は、次の設問により直接的に聞いている。「個人・意向」

あなたは市役所への問合せや、窓口の受付、サービスの利用などの際、市役所や支所などが身近で便利だと感じていますか。(1つに )

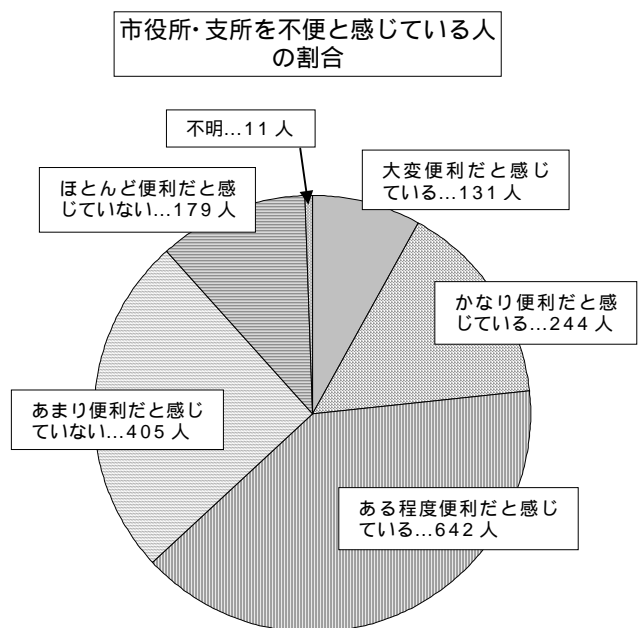
- 1 大変便利だと感じている
- 2 かなり便利だと感じている
- 3 ある程度便利だと感じている
- 4 あまり便利だと感じていない
- 5 ほとんど便利だと感じていない

指標の現状(値)

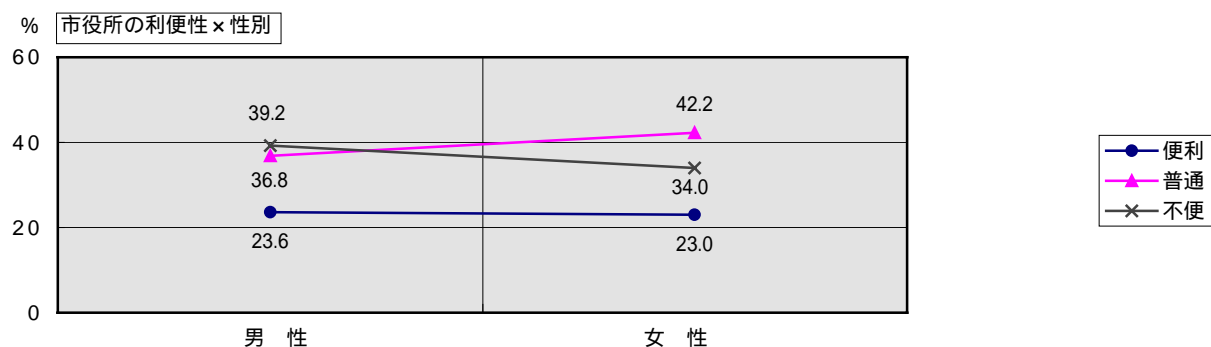
カテゴリー	割合
あまり便利だと感じていない	11.1%
ほとんど便利だと感じていない	25.1%
計	36.2%

指標の分析

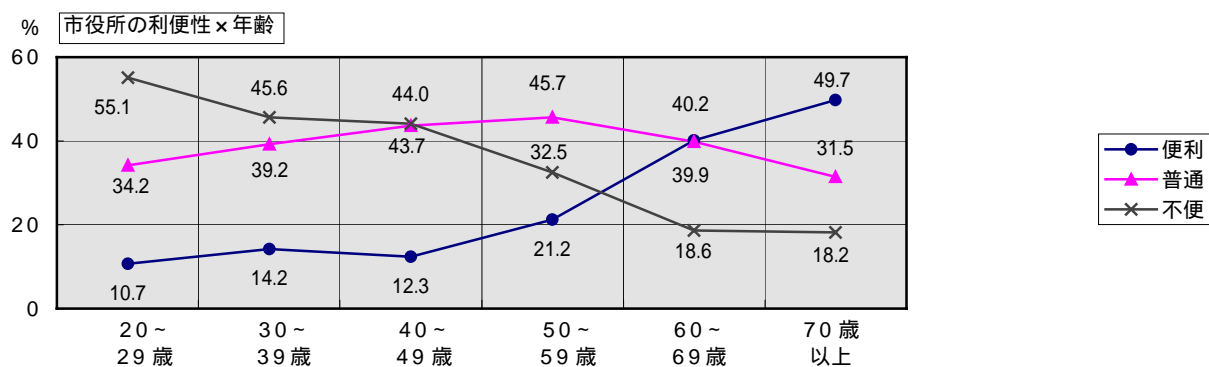
市役所・支所を便利だと感じている人23.3%  
 (「大変便利だと感じている」「かなり便利だと感じている」)より不便と感じている人36.2%  
 (「あまり便利だと感じていない」「ほとんど便利だと感じていない」)が上回っている。



次に、性別で見ると、男性より女性の方が不便と感じる割合が低い。



また、年齢別に見ると、加齢とともに便利だと思う人が増加し、不便だと思う人が減少する。



さらに、行政サービスとの関係を見ると、行政サービスに満足している人は市役所の利便性にも満足している。行政サービスに対する満足度と市役所の利便性は反比例する。

